

～自分のために、大切な人のために、未来のために～ がん検診を受けましょう

乳がん検診

乳がんは、女性のがんの中で最も患者数が多く、40代～50代女性のがん死亡原因の第1位です。

進行すると脇の下のリンパ節や血流によって肺や骨など全身に転移しやすいので、早期発見が重要です。早期に発見できれば乳房温存療法も可能で、高い確率での治癒が期待できます。定期的なセルフチェックに加え、定期的に検診を受診することが大切です。

◆主な症状

- ☐ 乳房にしこりがある
 - ☐ 乳頭から異常分泌がある
 - ☐ 乳房の一部がえくぼのようにくぼむ
 - ☐ 乳房表面がオレンジの皮のように赤くなる
- ※気になる症状がある場合は、検診を待たず、すぐに医療機関を受診してください。

①マンモグラフィ検査

◆対象

令和8年4月1日時点で50歳以上の女性
※令和7年度に受診した方には、受診票等を郵送します。

◆検査方法 乳房のX線検査

◆自己負担額 500円

※40代の方の検査は、マンモグラフィ検査と超音波検査を隔年で実施しています。今年度は超音波検査です。

②超音波検査

◆対象

令和8年4月1日時点で30歳～49歳の女性
※令和7年度に受診した方には、受診票等を郵送します。

◆検査方法 超音波検査

◆自己負担額 500円

子宮頸がん検診

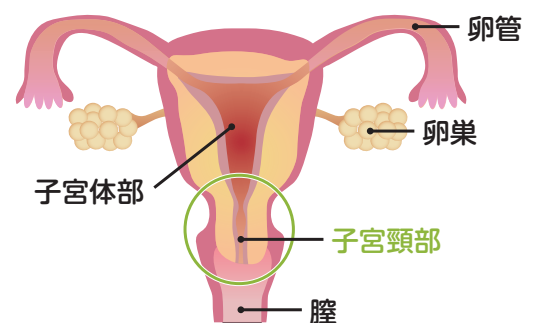
子宮頸がんの患者は20代後半から増え、特に30代～40代の妊娠出産を迎える時期と重なる女性の患者が近年増加傾向にあるのが特徴です。

初期の子宮頸がんでは症状がほとんど出ませんが、細胞診という検査を受けることで、がん細胞になる前に発見し治療を行うことができます。早期のうちに治療すれば、子宮を摘出せずに治癒できるため、妊娠出産も可能です。定期的に検診を受け、早期に発見することが大切です。

◆主な症状

- ☐ 月経の異常がある
(例：期間以外の出血、以前より長く重い等)
 - ☐ 性交、膣洗浄、婦人科での内診の後、出血する
 - ☐ 普段と違うおりものが多くなる・骨盤の痛みがある
- ※気になる症状がある場合は、検診を待たず、すぐに医療機関を受診してください。

子宮頸がんのできる部位



申込方法

受診希望日の10日前（土日・祝日を除く）までに電話、FAX、メール、申込フォームにて申し込み



▲申込フォーム



◆対象

令和8年4月1日時点で20歳以上の女性のうち、生まれの年号が大正・昭和で奇数年、平成で偶数年の方（西暦は偶数年）※2年に1回の受診です。

※対象者のうち、令和6年度に受診した方には、受診票等を郵送します。

◆検査方法

医師による診察および子宮頸部細胞診検査（子宮の入り口をブラシで軽くこすって細胞を採取）。

かかる時間は5分程度で、痛みはそれほどありません。

◆自己負担額 500円

検診日程

乳がん検診と子宮頸がん検診の同時実施日は両方の検診を受診できますが、どちらか一方のみの受診も可能です。

なお、同時実施日の実施時間は9時からとなります。

乳がん		実施時間		9時～／13時～	
子宮頸がん		実施時間 (同時実施日)		10時～／13時～ (9時～／13時～)	
実施日		乳がん (マンモ)	超音波 (エコー)	子宮頸 がん	会場
10月	30日 金	○	○	—	保健センター
11月	2日 月	○	○	—	保健センター
	9日 月	○	○	—	
	10日 火	○	○	—	
	11日 水	○	○	○	
	17日 火	*○	○	—	本納公民館
	24日 火	○	○	—	保健センター
	26日 木	—	—	*○	本納公民館
12月	30日 月	○	○	—	保健センター
	2日 水	*○	○	—	本納公民館
	11日 金	○	○	○	保健センター
	17日 木	○	○	—	東部台文化会館
	18日 金	○	○	—	
	21日 月	○	○	—	保健センター
	22日 火	○	○	○	
令和 9年 1月	23日 水	○	○	○	保健センター
	5日 火	○	○	○	
	6日 水	○	○	○	
	7日 木	○	○	○	東部台文化会館
	8日 金	—	—	○	
	9日 土	○	○	○	保健センター
	13日 水	○	○	—	東部台文化会館
	14日 木	○	○	—	
	19日 火	○	○	—	本納公民館
	22日 金	○	○	—	東部台文化会館

※11月17日㊦、12月2日㊦の乳がん（マンモ）検診および11月26日㊦の子宮頸がん検診は満員のため受付終了。